

『第8回 地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜』

【仮面の忍者・赤影参上！ & サミット開会】

司会（滋賀県湖南市長 谷畑英吾）：

豊臣秀吉がまだ木下藤吉郎だった頃、琵琶湖の南に金目教という怪しい宗教が流行っていた。それを信じないものは恐ろしい祟りに見舞われるという。その正体は何か、藤吉郎はその正体を探るため、飛騨の国から仮面の忍者を呼んだ。その名は・・・

司会（佐賀県小城市職員 坂田啓子）：

赤影・・・！？

（谷畑市長、赤影の仮面を装着）

司会（佐賀県小城市職員 坂田啓子）：

赤影参上～！（会場笑い）

『第8回 地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜』の司会は、首長連合代表代行の滋賀県湖南市の谷畑市長、首長連合事務局・佐賀県小城市の坂田啓子さんのダブルキャスト。谷畑市長は、開催地の飛騨市にちなみ、仮面の忍者・赤影として登場。

オープニングアトラクションは、地元飛騨市宮川町の北辰若連中獅子舞。前年のサミットの「首長&公務員 飛び出す甲子園2017」で飛騨市長とともにプレゼンした飛騨市職員・山下譲太さんが獅子舞冒頭の「口上」を務めた。

今回のサミット出席首長は首長連合加入 62 人のうち、10 人。

北海道東神楽町 山本町長、北海道釧路市 蝦名市長、山形県南陽市 白岩市長、長野県大町市 牛越市長、岐阜県関市 尾関市長、岐阜県飛騨市 都竹市長、岐阜県岐阜市 柴橋市長、滋賀県湖南市 谷畑市長、鳥取県 平井知事、宮崎県木城町 半渡町長。

また、首長連合には加盟していないが、岐阜県山県市 林市長が一般参加。

【首長連合代表挨拶 鳥取県知事 平井伸治】

本日、ここ岐阜県飛騨市で、地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミットが開催される。飛騨市長及び飛騨市の方々に感謝を申し上げたい。全国から集まった皆さんが今日の機会を大いに活用し、地域の為に本当に役に立てる人間になり、公務員としての素晴らしい人生を作り上げる。私達首長はそれを応援していければと考えている。アワードをはじめ、私達が本当に働きやすい、そして地域で活動しやすいガイドラインを作るなど、皆さんとともに今日一日盛り上げていきたい。

この飛騨市は、白壁と土蔵が本当に美しい町並みで、こういう建築の町を残そう、盛り上げていこうという様々な人達の活動が見える。今年の夏は岐阜で大変な豪雨があり、飛騨でもこの度豚コレラが発生するなど、様々な災害や困難がある。これらを乗り越えていく為に本当の地域の力を作っていかなければならない。その主たる担い手として期待されるのはやはり公務員という存在。公務員に掛かっている規制をある程度振りほどきながら、自由な形で、地域で役立つ本当の役人になってもらうことも考えなければならない。これはトップのリーダーシップによるところもある。私も首長 62 名が契りを結び、この首長連合を作った。ぜひ多くの方々からご協力、ご支援をいただければありがたい。

飛騨、特にここ古川は、法隆寺の仏像やお祭りのからくり人形など、飛騨匠の伝統が築かれている。

「飛騨たくみ ほめてくれる 真木柱 たてし心は 動かざらまし」（賀茂真淵の詩）

今日私達もこの飛騨匠の伝統の中、真木柱をしっかりとうち立てたい。是非皆様にとって素晴らしい一日となり、これから益々それぞれの地域が栄えることをお祈り申し上げて、私からのメッセージとしたい。

【開催地首長挨拶 岐阜県飛騨市長 都竹淳也】

全国各地からおいでいただいた皆様方に、心より感謝と歓迎を申し上げます。私が初めてサミットに参加したのは千葉県山武市の時で、最初 3 回は岐阜県庁職員として、そのあとは飛騨市長として参加している。私自身にとっては 6 回目、通算で 8 回目のサミットを是非この飛騨市で開催したいと願っていた。素晴らしい地域活動をしている全国の皆様方をお迎えでき、飛騨市のまちづくりにも弾みがつくと思う。

飛騨市は、2 町 2 村が合併して平成 16 年にできた、中山間のいわゆる過疎地。私は人口減少先進地と表現している。小さい町ではあるが、様々なまちづくり活動があり、市民が自らこの地域をなんとか良くしていこうと取り組んでいる。本当に全国に負けないものがあると思う。この飛騨の町並みは、規制も補助金の誘導も一切行っていないにもかかわらず、市民がこうした街を作りたいという想いだけで、こうした均整の取れた町並みが出来上がっている。非常に市民の自治意識が強い。そういった中で祭りが作り上げられ、地域のいろいろな伝統がある。今日展示させていただいた「つるし飾り」のように、新しくできた地域活動もある。また、神岡鉄道の廃線を利用して、そこを自転車で行く「ガッタンゴー」というアトラクションがある。これは、鉄道が廃線になるという危機を言わばまちづくりのチャンスとして捉え、一つひとつ市民が自分で作り上げてきたプロジェクト。まちづくりの活動には、飛騨市役所の職員がごく自然な形で、特殊な活動だと思わずに参加している。それが地域全体の盛り上げにも繋がっている。まさしく地域に飛び出す活動を実践している。そんなところを少し頭に置いていただきながら、是非飛騨市をご堪能いただき、思い出に残る 2 日間のサミットになることを心から祈念して、私からの歓迎とお礼のご挨拶としたい。

【地域に飛び出す公務員ネットワーク代表（首長連合提唱者）挨拶

一般財団法人 地域活性化センター 理事長 椎川忍】

私は一年中ネクタイをしていない。なぜ日本人がネクタイをしなきゃいけないのかとずっと言い続けて、伝統工芸品のループタイをしている。今日のループタイは飛騨古川まつり会館で買ったもの。日本の伝統工芸は世界からはものすごく評価されているのに、日本人は廃れさせようとしている。伝統的な織物も良い。オリンピック・パラリンピックに向けて日本の良いものを世界に広げていきたい。

およそ 10 年前に地域に飛び出す公務員ネットワークを立ち上げた。これを是非首長さん方に応援してもらいたいということで、8 年前に首長連合を設立していただいた。本当に早いもので今回が 8 回目のサミット。私と同じく 8 回連続参加の方がおられると思う。（会場から挙手あり）このような方々に支えられながら今までやってきたということは本当に感慨深く、感謝の気持ちで一杯である。

私も今朝、地域に飛び出し、黒内のリンゴ畑の中をランニングしてきた。素晴らしいフットボール場の周りを走り、それから古川に降りてきて三寺参りもした。素晴らしい山門、素晴らしい装飾を施した鐘楼など、町中に匠が溢れている。この古川の町は、歩いて 2、3 時間あればすべて周れるくらいの規模で、本当に気持ちのいい町だと感心した。そしてまつり会館に行って、ビデオを観た。飛騨古川の祭りには「古川やんちゃ」という、内に秘めた凄い闘志がある。古川まつりのビデオを観て、「まさに都竹市長は古川やんちゃだ」と思った。

ぜひこれからもサミットを続けていって、地域に飛び出す公務員を応援していただく、そして役所全体の雰囲気を変えていただきたい。

地域活性化センターも、地域に飛び出す公務員に代表される横串人材の育成に力を入れている。専門性を持った人同士が横に手を繋いで、さらに新しいものを学びながら、人と地域を横に繋いで、イノベーションを起こす、こういう人材を作りたいというのが私の願い。私が 10 年来やってきたことを地域活性化センターの仕事として今後はやっていきたいと思っている。首長の皆様方も公務員の皆様方も是非関心を持って応援していただく、或いは参画していただければありがたい。